

## 石造薬師三尊像



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうやくしさんそんぞう
所在地	新見市神郷高瀬
指定年月日	昭和40年2月24日
解説	<p>嘉元4年(1306)の造立。花崗岩製。中尊の像高0.95m、脇侍の像高0.43m。板状花崗岩(上辺約1.5m、底辺約2.2m、高さ約1.4m、厚さ約0.3m)に線刻の蓮華座に坐す薬師三尊(中尊=薬師如来、脇侍=日光菩薩・月光菩薩)を浮彫りしたもの。両方の脇侍の外側に銘文が刻まれている。もとは備後国豊松村(現、広島県神石高原町)の東福寺にあったが、江戸時代に東福寺が無住となったため、備中国高瀬村(現、新見市)の村人が譲り受けて、現在地まで運んだという。現在は薬師堂の中に安置されている。</p>
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	